

# 蕨 9 広報WARABI

2016/平成28年  
わらび・786

- 平成28年9月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.11km<sup>2</sup>
- 8月1日現在人口：73,594人 前月比 -27人  
男 37,446人 女 36,148人  
世帯数：37,354  
人口密度：14,401人/km<sup>2</sup>



外国のものや季節の関係で撮れないものは資料から引用しました。

池田さんお気に入りの『わ』



実写化された『わ』

わらび郷土かるたの『わ』

わらび郷土かるた  
実写化してみました

## 郷土かるたの実写化に挑戦 46枚分の思い出にっこり

南小の池田<sup>いけだ</sup>桜子<sup>さくらこ</sup>さん(10歳)が、夏休みの自由研究でわらび郷土かるたを実写化しました。父親の<sup>だいすけ</sup>大介さんと市内などを巡り、絵札の内容に添った写真を撮影。「自転車<sup>じてんしゃ</sup>で回って楽しかった。蕨をもっと知ることができました」と、すてきな思い出も作り上げたようです。

～今月の特集～

- いきいき高齢者特集

WARABI





松原会館で書道を楽しむ「松芳会」の皆さんと

もりた ちづこ  
森田 千鶴子 さん

85歳・中央7丁目



「書道を通じた触れ合いが  
励みになっていますね」

「毛筆の温かみや書くことの楽しさを伝え続けたいですね」と、柔和な表情を浮かべる森田千鶴子さん。書道歴50年以上、数々の展覧会で入賞経験もある、その道のスペシャリストです。現在は自宅の書道教室で筆をとる傍ら、松原会館をはじめ、ボランティアで福祉施設にも通うなど精力的に市内を回っています。子どもたちとの交流も楽しみの一つで、10年ほど前からは近所の下蔵公民館の「書き初め教室」や新入学児童を対象とした「書き方教室」の講師に協力。個性をたいせつにした丁寧な指導が人気で教室は毎回いっぱいです。また、先月19日には同館の生涯学習フェスティバルの準備で恒例の看板作りも。皆さんからの依頼にも快く応じ、すらすらと筆を運ばせるその周りには自然と笑顔で包まれていました。「書道を通じて幅広い世代と交流できることが私の励みです」と、森田さん。小柄な体にあふれる活力の源を教えてくださいました。



◀生涯学習フェスティバルに華を添える立派な立て看板は毎年大好評



小学生書き初め教室で▶指導に当たる森田さん

# いきいきシニア 地域で輝くその笑顔

歳を重ねてもきらきらと輝く高齢者の皆さんの笑顔は、まちを活気づける元気の源です。ここ2、3歳では高齢者特集として地域でいきいきと暮らす3人を紹介します。





「いきいきわらび」の一員として活躍する高田さん



大石さんが入ってクラブはあっという間にぎやかに



たかだ  
**高田 れい子** さん

84歳・北町4丁目



おおいし としお  
**大石 利夫** さん

92歳・塚越3丁目

### 「皆さんとの百歳体操 楽しんでます」

無理なく楽しみながら運動できると評判の「いきいき百歳体操」。「100歳に近いのは私の方かしら」と、おちゃめに話す高田れい子さんは、住民主体となって運営している介護予防教室でこの体操を指導するボランティアサポーター「いきいきわらび」(約50人)の最年長メンバーとして活躍中です。

長年、社会教育委員や民生委員などを務め、地域とのつながりを深めてきた高田さん。体を動かすのも大好きでフォークダンスや朝のラジオ体操を50年以上続けるアクティブな人柄です。昨年7月から2か月にわたって開かれたサポーター養成講座で学び、現在は週1回、西公民館で65歳以上の参加者とともに汗を流す高田さん。「皆さんより若いくらいの気持ちを持たなきゃね」と、リズムに合わせて元気に声を響かせています。「たくさんの方が集うこの場所が大好きなんです」と、健康づくりの輪を広げながらはつらつと毎日を過ごす高田さんです。



◀ 第1期生のサポーターとして、教室の運営に協力している高田さん

朝のラジオ体操は夫の政雄さんといっしょに



### 「歳を重ねても青春 なんでも挑戦しますよ」

「人生は一生青春。挑戦する気持ちが大事ですよ」と語るのは、けやき荘で開設当初から趣味を楽しむ大石利夫さん。鉄道マンとして線路や橋梁の整備など、戦後の公共交通の発展に尽力してきた大石さんは、定年退職後、地域との交流を広げようと同施設を利用するようになりました。社交ダンスやカラオケなど大石さんは正に趣味の達人。昨年からは「クラブ折り鶴」に入会し、「完成したときの達成感が最高」と、探求心は衰え知らずです。得意なのは2色の折り紙で作る指輪で、5月のけやき荘まつりでは利用者の皆さんにプレゼントするなど周囲に笑顔の花も咲かせる人気者です。

そんな大石さんは10年近く塚越児童館のクリスマス会でサンタさんに扮装し、毎回得意のオカリナを演奏するなど、すてきな思い出を届けています。「お呼びがかかるので病気もできないよ」と、にっこり。なにごとにも前向きに楽しむ姿勢が長寿の秘訣です。



◀ 本物に負けにくいぐらいすてきな折り紙の指輪

がっちりとした体格は正にサンタさん。催しに欠かせない存在です



# 福祉事業・制度 ぜひご利用を



オカリナやウクレレのすてきな音色を響かせる松原会館の利用団体「タンポポ」の皆さん

## いきいき高齢者特集②

今月19日は敬老の日です。市内には65歳以上のかたが、人口の約23%に当たる16,974人いらっしゃいます(8月1日現在)。そこで4、5ページでは、皆さんが元気に暮らせるように実施されている、各種福祉事業や制度について紹介します。

— 問い合わせ —  
介護保険室(☎433・7756)

### 給付・助成・融資など

●敬老祝金／9月1日現在で、歳市に引き続き1年以上住んでいる左表の年齢の人にお祝い金をお贈りします。

満年齢	金額
75歳	20,000円
77歳	20,000円
80歳	20,000円
85歳	20,000円
88歳	25,000円
90歳	30,000円
95歳	30,000円
99歳以上	50,000円

●福祉入浴サービス／65歳以上で自宅にお風呂のない人か、70歳以上で市民税非課税世帯の人に毎月4回分(7月と8月は6回分)の公衆浴場の入浴券(1000円の自己負担あり)を差し上げます。

●福祉理美容サービス／70歳以上で市民税非課税世帯の人に、年5回分の理美容の割引券を差し上げます。

●徘徊高齢者等家族支援サービス／徘徊行動のある高齢者が専用端末機を携帯することで、家族が本人の居場所を確認できるサービスの費用の一部を助成します。

●介護サービス利用料軽減助成／居宅及び地域密着型の介護(予防)サービスをご利用

の市民税非課税世帯の人に、負担の一部を助成します。

●家族介護慰労金／介護保険の要介護度が4か5で介護サービスを1年以上利用していない人を、在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に、年額10万円を支給します。

●在宅要介護高齢者手当／在宅で要介護度が重い低所得の高齢者に、月額5000円を支給します。対象は介護保険被保険者で市内に住所があり、次の要件を全て満たす人  
①65歳以上 ②施設に入所していない ③介護保険の要介護度が4または5 ④介護保険の保険料段階が第3段階以下(世帯全員が住民税非課税)  
⑤生活保護を受けていない  
⑥在宅重度障害者手当を受給していない

●老人居室整備資金／60歳以上の人と同居しているか、これから同居しようとする人が、高齢者専用の居室を備えた住宅を建築する際の必要な資金融資を斡旋し、利子を全額助成します。

●民間賃貸住宅入居保証料助成／70歳以上の独り暮らしか、配偶者の一方が70歳以上の夫婦世帯で、市民税非課税

世帯の人が、市内の民間賃貸住宅を借りるときに保証人を確保できず、保証会社の家賃等債務保証制度を利用した場合に、初回保証料の2分の1(上限3万円)を助成します。

●民間賃貸住宅家賃助成／70歳以上の独り暮らしか、配偶者の一方が70歳以上の夫婦世帯で、市民税非課税世帯の人が民間の賃貸住宅に住み、①月額1万円以上3万円未満の家賃を支払っている場合は、月額6000円 ②月額3万円以上6万円以下の家賃を支払っている場合は、月額1万円を助成します。

●介護予防のための住宅改修費を助成／手すりの取り付けや段差解消、床材の変更、扉や便器の取り替えなどの改修。対象は次の①～③全てに該当する人 ①65歳以上の在宅高齢者 ②介護保険制度で要介護・要支援に該当しない人 ③世帯全員が市民税非課税 助成額は改修費用の3分の2以内(上限10万円)

●社会福祉法人等利用者負担軽減助成／介護サービスを利用中の市民税非課税世帯で生計が困難な人(条件あり)に負担の一部を軽減します。

## 在宅でのサービス

●**寝具乾燥サービス**／65歳以上の市民税非課税世帯の人で、寝具類の乾燥や消毒をすることが困難な独り暮らしの高齢者または高齢者世帯に、毎月1回（11月～3月は月2回）、寝具乾燥車を派遣します。寝具の洗濯は年1回です。

●**配食サービス**／65歳以上の独り暮らしや夫婦世帯などで、食事の用意をするのが難しい場合、1食400円で、温かい夕食をお届けします。

●**訪問理美容サービス**／介護保険の要介護度が4か5の寝たきりの人に、自宅で利用できる割引券を差し上げます。

## 生活用具の給付・貸与

●**日常生活用具購入費の補助**／日常生活で火災警報器、電磁調理器、自動消火器が必要と認められる65歳以上の人に、購入費の一部または全額を補助します。所得税非課税の人は自己負担なし。

●**歩行補助つえがもらえます**／歩行に常時つえが必要なら65歳以上の人が

●**紙おむつがもらえます**／65歳以上の人で常時おむつを

必要と医師が認める人が寝たきりで常時おむつが必要な人以上で体が弱く、独り暮らしの人のお宅に、受信センターと直結した専用機器を設置し、緊急通報によるホームヘルパーの派遣や救急車の要請などのサービスが受けられます。

## 充実した毎日を

●**老人憩いの家みつわ苑**（南町2丁目）／60歳以上の市民が利用可。▼**囲碁将棋サロン**／月々土曜日の午後1時～4時半 ▼**喫茶ひだまり**／原則月2回 水曜日（今月は21日・28日）午後1時半～3時

▼**スカイウエル**／交流高压電位治療器が利用可。午前9時～11時40分、午後1時～4時40分 詳細は交流プラザさくら内同施設（☎432・7271）

●**けやき荘**（塚越5丁目）／60歳以上の市民が利用可。▼**囲碁・将棋クラブ**／正午～午後4時半 初心者歓迎 詳細は同施設（☎441・0705）

●**松原会館**（錦町3丁目）／60歳以上の市民が利用可。事前登録制。身分証持参。休館日：日曜日、20日・23日 ▼ヒップホップダンスでエクササ

イズ 10月6日～27日 毎週木曜日 午前11時 先着20人申し込み 詳細は同館（☎443・6542 ☎433・1868）

●**高齢者クラブ**／市内には24のクラブがあり、おおむね60歳以上の人が入会できます。詳細は最寄りのクラブへ。

●**蕨市シルバー人材センター**／原則60歳以上の健康で働く意欲と体力のある人 登録制。問い合わせは同センター（☎433・0962）

●**軽費老人ホーム「ケアハウス松原」**入居者募集／身体機能の低下があり、生活に不安のある60歳以上（夫婦可）の市民 施設見学可。問い合わせは同施設（☎432・6747）

## 介護予防・健康

●**地域包括支援センター**／介護・福祉・保健・医療などさまざまな支援を行う総合相談窓口。担当地区／錦町・中央・北町

●**蕨市第一地域包括支援センター**（☎434・6721）南町・塚越

●**蕨市第二地域包括支援センター**（☎290・8587）▼**介護交流サロン**／21日（水）午後1時半～くるる 介護の悩みを語らいませんか 詳細は第一地域包括支援セン

ター ▼**蕨びんしゃん教室**／①10月12日～11月9日 毎週水曜日 午前9時半 けやき荘 ②10月17日～11月14日 毎週月曜日 午後1時半 南公民館 姿勢を整え、転びにくい身体づくり 軽い運動ができる65歳以上の市民 先着25人（②は30人）申し込みは5日～9日に第一地域包括支援センター ※①②いずれか一つ。

▼**脳活教室**／10月6日～3月16日 木曜日 全21回 午前中 いきいきタウン蕨 ドリル形式の教材を使った認知症予防（65歳以上の市民（昨年度の受講者は要相談）先着30人申し込みは6日～22日に第二地域包括支援センター ※脳活教室サポーター（有償ボランティア）募集／3人 1日1000円の謝礼あり。申し込みは30日までに同センター

## お出かけください

●**お年寄りを敬う会**／17日（土）午前の部（午前9時半～11時半）錦町、南町、中央1・2・6・7丁目地区 午後の部（午後2時半～4時半）塚越、北町、中央3・4・5丁目地区 市民会館 式典（長寿者表彰、お祝いの言葉など）、市内小学

生による敬老作文の朗読、お笑いエンターテインメントショー、子どもたちによるダンス発表など 対象は77歳以上の人（昭和14年9月30日以前に生まれた人）問い合わせは介護保険室（☎433・7756）



昨年のお年寄りを敬う会

●**趣味の高齢者作品展**／8日～12日の正午 中央公民館 高齢者クラブなどに加入している皆さんの作品（書道、絵画、写真ほか）を展示 詳細は介護保険室（☎433・7756）

●**コミュニティバス**ぶらつとわらび無料バス／無料バスを提示すると、運賃が無料になります。対象は75歳以上の市民 申請は平日の午前8時半～午後5時15分に身分証明書（後期高齢者医療被保険者証など年齢が確認できる物）、証明写真（縦3センチ×横2.4センチ）2枚を持ち、市役所2階安全安心推進課（☎430・7834）

# 感じた夏

学校を飛び出し、ふだんと異なる舞台上でボランティアの体験をした子どもたち。ここ6、7号ではその様子を紹介します。



## 夏

休み。さまざまな経験ができる機会です。蕨市社会福祉協議会が体験プログラムを組む「はじめてのボランティア」や「中学生徒会が中心に行う「清掃ボランティア」もその一つ。今年も多くの子どもたちが参加しました。

## 小

さな子や母親、高齢者に勇気を出して歩み寄った福祉施設では、しだいに年齢や環境の壁はなくなり、お互いが笑顔に。また、炎天下に汗を流して取り組んだ清掃活動では、道行く人から「ありがとう」といった言葉も。

## お

母さんの深い愛情を感じた「入浴介助の方」を見られてよかったと、短い時間でも多くの発見をした参加者たち。そしてなによりも人の温かさに触れ、「今の自分のできることを、あらためて考えた夏になったはずだ。

## 児童センター ぬくもりを感じる

(右から順に いずれも8月4日)中学生から大学生までの参加者10人が曲に合わせて人気アニメの踊りを披露。小さくてかわいい手がぎゅっと。お母さんにもお話を聞いて貴重な体験に。



# このまちで見て触れて



市内清掃  
まちを見つめる

(右上から時計回りに いずれも7月28日)一中生の呼びかけに南・中央・中央東小の児童も賛同し、約300人が参加。駅前では協力してガムを剥がす作業を実施。線路沿いもくまなくごみを拾いました。最後の仕分けまでしっかりと。



## 高齢者施設 現場で触れ合う



(左から時計回りに) 8月3日・わらびの郷に訪れた小学生と入所者がにっこり。8月4日・グリーンビレッジ藤では中学生が耳元でゆっくりお話。レクリエーションでは輪に入って交流も。





## レポート そここが知りたい

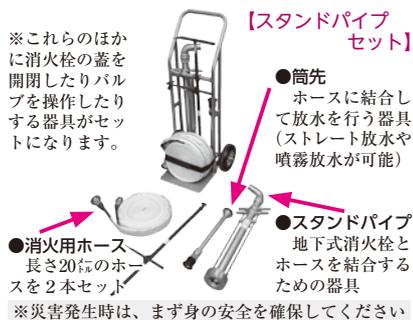
〈118〉

# 大規模災害に備え、自主防災会へ スタンドパイプの配備を開始

大規模災害の発生時に隣近所が助け合い、地域の安全を守る「共助」。その取り組みを後押ししようと市では今年度から初期消火に役立つスタンドパイプの配備を、自主防災会を対象に順次開始しました。そこで今月はその概要について紹介します。

## 継続的な取り組みで 進む防災都市づくり

今後30年以内に70%の確率で発生するといわれる首都直下地震。蕨市でも震度6強の揺れなどが想定され、その備えが重要な課題となっています。市では今年度も引き続き防災対策に重点を置き、北町コミュニティ・センターの耐震工事の実施や家具転倒防止器具設置等



※これらのほか消火栓の蓋を開閉したりバルブを操作したりする器具がセットになります。

●筒先  
ホースに結合して放水を行う器具(ストレート放水や噴霧放水が可能)

【スタンドパイプセット】

●スタンドパイプ  
地下式消火栓とホースを結合するための器具

●消火用ホース  
長さ20mのホースを2本セット

※災害発生時は、まず身の安全を確保してください

大規模地震の際、同時に発生する災害や道路の

## 初期消火で延焼防ぐ スタンドパイプ配備

補助金の全世帯への対象拡大、協働提案事業としてのわらび防災大学の開校など災害に強いまちづくりを進めています。更に先月、自主防災会12団体へ1台ずつ配備をしたのが、初期消火に役立つスタンドパイプです。



スタンドパイプの操作法を訓練する皆さん

損傷などにより、火災が起きてもすぐに消防隊が現場へ到着できないことが想定されます。そうしたときに有効となるのが、地域住民の皆さんでも活用できるスタンドパイプです。持ち運びや取り扱いが比較的容易なスタンドパイプは、道路下にある消火栓に差し込み、消火用ホースをつないで使

用します。水圧などの条件しだいでは従来の消火器などに比べて大きな消火能力があるため、火災の延焼阻止への効果が期待される資機材です。  
**訓練で操作法を周知  
今後も共助を後押し**  
先月4日には授与式と研修会が行われ、「女性でも操作がしやすい」「放水量が多くて心強い」といった感想を口にした参

## 災害時における相互応援協定20周年記念覚書に署名



左から星野議長、千明村長(片品村) 頼高市長、三輪議長(蕨市)

8月21日、東小学校で実施された総合防災演習において、蕨市と災害応援協定を結ぶ群馬県片品村の千明金造村長や星野千里議長が訪れ、20周年記念覚書に署名を行いました。

加者の皆さん。また、21日に行われた総合防災演習内で、塚越地区の自主防災会が操作訓練を実施しました。今後、各自自主防災会では、防災訓練などを通して使用方法の理解を深めていきます。市ではこれからも、他の自主防災会への配備を計画的に進めていくとともに、自助・共助・公助の連携による災害に強いまちづくりを進めます。

- 問い合わせ 安全安心推進課 ☎433・7755
- ▼ベビーベッド 標準サイズほとんど使用せず 取りに来られる人 マットレスなし
- △野村 ☎445・1802
- ▼(仲間にありませんか)
- ▼和楽備ラジオ体操の会  
月・水 金曜日 午前6時15分  
城址公園 脳トレニング・ストレッチ・ラジオ体操 平田 ☎090・3131・9399
- ▼わらびシニアパソコンクラブ  
27期会員募集 今月開講  
第1・3火曜日 午後1時半  
中央東小学校隣・旧加藤文具  
2階 月2500円 パソコン持参 星野 ☎444・4836
- ▼わらびハートモ二カクラブ  
水曜日 午後1時 西公民館  
月2000円 初心者歓迎
- △重田 ☎433・7375
- ▼南団基クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料
- △山本 ☎432・4543
- ▼日本語ボランティアわらび  
中央 火曜日 午後1時半  
水曜日 午後2時 中央公民館  
月2000円 入会費 ☎090・8945・7807
- ▼楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前  
ラ・セーヌビル 月4500円  
円 八浦島 ☎224・5915

## 情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課 ☎433・7703へ。

# 国際青少年キャンプ in エルドラド

2016.07.22 Fri - 08.02 Tue



異なる国の青少年たちが集い、文化交流やレクリエーション、ホームステイなどを通じて触れ合いや相互理解を深める国際青少年キャンプが開かれました。14回目の今年はアメリカ・カリフォルニア州のエルドラド郡に蕨市から14人を派遣。言葉や文化の壁を超えた交流を育みながら、かけがえのない経験を重ねました。



書道や踊りなどの披露を通じて親睦を深めた文化交流



ラフティング(川下り)ではエルドラドの大自然を満喫

**INTERVIEW**

**異文化知るよい経験に**

むとう はやと 武藤 隼人 さん  
塚越5丁目・16歳

緊張ばかりの初海外渡航。当初は、慣れない英語に疎通がうまくいかないことも…。それでも、ホームステイ先の皆さんと身ぶり手ぶりで交流を重ねたり、現地を案内してもらったりし、エルドラドの文化や自然に触れるにつれて、視野が広がりました。

ホームステイ先の皆さんと武藤さん

## まちの話題

物づくりの楽しさを感じてもらおうと、8月4日、南公民館で「陶芸教室」が開かれました。講師の小川忠太郎さんによる指導の下、小学生14人は自由な発想でお皿作りなどに挑戦。粘土の感触を楽しみながら、世界に一つだけの作品と夏休みの思い出を形づくりました。

## みんな楽しく陶芸体験



8月4日から7日まで、蕨駅西口駅前通りを主会場に、「第66回機まつり」が開催されました。沿道の華やかな七夕飾りのほか、恒例の手おどりやステージ発表、わらびりんごサイダーの販売などで、連日会場は大盛況。訪れた22万人は、蕨の夏を彩る祭りを堪能しました。

## 機まつり今年も盛大に



塚越地区では毎年、平和事業の一環で地域の皆さんによる市民公園の清掃活動が行われています。今年は8月6日に実施され、約1時間かけて園内の平和の母子像や噴水などを清掃。参加した43人はきれいに磨かれた母子像を見上げ、平和への思いを新たにしていきました。

## 平和を願い母子像清掃



8月21日、東小学校で総合防災演習が行われました。市民による初期消火やスタンバイ操作訓練、消防団の二斉放水、消防隊の高所救出訓練などのほか、群馬県片品村と災害時相互応援協定20周年記念の覚書を交わし、参加者871人は災害への備えを再確認しました。

## 演習で高める防災意識



「わら音」の一環として、8月23日から25日まで、子ども音楽大学わらびが開校されました。講義や楽器体験などのほか、最終日には蕨市音楽家協会の皆さんと市民会館のホールで合同演奏会を開催。入学した小・中学生39人は、良質な音楽に触れ、感性もより磨かれました。

## 子ども音楽大学が開校



- 〔参加しませんが〕**
- ▼セピア・火曜会ダンスパーティー 17日・27日 午後1時15分〜くるる 6000円
  - △坂内・☎43・8968
  - ▼Yキッズダンス無料体験 5日・12日 午後5時15分〜4歳〜小学2年生 午後6時15分〜小学3年〜中学生 くるる△谷内・☎090・2492・3967
  - ▼ソフトバレーボール体験会 11月中 詳細は電話確認△蕨市ソフトバレーボール協会・☎090・6125・4283
  - ▼リズム体操体験 年中〜小学3年生 日時等は電話確認△清水・☎090・4958・9469
  - ▼「音街歩き・真岡」参加者説明会 日時等は電話確認△日帰り倶楽部・岩本・☎090・3431・4295
  - ▼ダンスパーティー 8日・14日・29日 午後1時〜くるる 499円△犬塚・☎41・7373
  - ▼大人のための英会話・韓国語入門講座 24日〜11月12日 土曜日 全8回 韓国語 午後6時 英会話 午後7時半 市民会館 各15人(先着順) 各5000円(別途教材費)
  - △国際文化交流協会・前田・☎090・6489・2803
- 〔ご相談ください〕**
- ▼蕨断酒会(酒害相談) 6日 中央公民館 15日 旭町公民館 23日 南公民館 午後7時 語り合いの場△円浄・☎090・2522・8688

# だんらんや情報交換に お気軽にご利用ください オレンジカフェクローバー

認知症の人やその家族、地域の皆さんなど、誰でも集える場として、市内4つの老人ホームやグループホームで開かれている、「オレンジカフェクローバー」。専門スタッフに相談もできるこのカフェは予約不要で無料です。お気軽にお越しください。



## 親と子の ニュースの 小窓

### 4つの施設でいずれも毎月1回開催中

**ワラビ** じいちゃん、どうしたの？元気がないね。  
**じいちゃん** 友人から、もの忘れが多くなった奥さんのことで相談を受けたんだ。病院へ連れて行くのは気が引けるようで。どうしたらいいものか…。  
**ワラビ** それは心配だね。**お母さん** そういえば、認知症の人やその家族、地域の皆さんが集える場として「オレンジカフェクローバー」がこの夏から開かれているみたいよ。じいちゃん なにか手がかりになるかもしれないな。話を聞きに行こう。  
**職員** こんにちは。カフェ

**ワラビ** どうして、このカフェが始まったの？  
**職員** 認知症の人のなかには、不安から外出をためらうかたもいらつしやいます。そうした人たちが安心して外出できる場を地域でつくりたいという思いから始まりました。じいちゃん なるほど。

**職員** エは市内の老人ホームやグループホームなど4つの施設(左下囲み)が主催となり、地域包括支援センターと協力しながら、毎月1回行われています。**お母さん** 認知症サポートがつけているオレンジリングの色と、4つの施設をかけて「オレンジカフェクローバー」と名付けられたんですね。じいちゃん 親しみやすい名前だ。カフェというからには、やはりお茶を飲んで過ごすのかい？  
**職員** はい。くつろぎながらお話ができる雰囲気になっています。

### もの忘れ相談等も専門スタッフが対応

**職員** 外出をして刺激を受けるのも必要らしいからな。  
**職員** また、その家族にとっても情報交換の場などとして有効です。カフェには、施設の職員や認知症地域支援推進員といった専門スタッフもいるので相談もできます。  
**お母さん** それは心強い

わね。お話をしたり思いを共有できたりすると心理的な負担も軽減するわ。  
**ワラビ** じいちゃんも一度参加して、お友達に教えてあげたら。  
**じいちゃん** うーん。だが、わしはまだ…。  
**職員** どなたでも参加できるので安心して下さい。皆さんが同じ空間で過ごすことにより、地域ぐるみで認知症に関する理解が深められる効果も期待されています。  
**じいちゃん** たしかに高齢化が進む現代では、人ごとではないからな。  
**職員** 参加者からは「お話できて楽しかった」などと好評をいただいています。どの施設も予約不要で無料です。ぜひお気軽にお越しください。

ゆっくり語り合う時間を オレンジカフェクローバー				
場所	みんなの家・蔵2	ライフ コミュニオン蔵	イリーゼ戸田	リハビリホーム まどか蔵
	錦町6-9-29	北町2-6-12	錦町4-7-4	南町2-11-10
☎	430・1515	229・1261	430・0321	434・7300
時間	午後1時半～3時半	午後1時半～3時半	午前10時～11時15分	午後1時半～2時半
開催日	9月6日(火)	9月15日(木)	9月23日(金)	9月27日(火)
	10月4日(火)	10月13日(木)	10月21日(金)	10月25日(火)
	11月1日(火)	11月10日(木)	11月18日(金)	11月29日(火)
	12月6日(火)	12月15日(木)	12月23日(祝)	12月27日(火)
	1月10日(火)	1月19日(木)	1月27日(金)	1月31日(火)
	2月7日(火)	2月16日(木)	2月24日(金)	2月28日(火)
	3月7日(火)	3月16日(木)	3月24日(金)	3月28日(火)

# ほっと・エッセイ 91

## 蕨の姉妹都市アメリカ・エルドラド郡を訪問

市長 頼高英雄



第14回を迎えた今年の国際青少年キャンプは、昨年、姉妹都市締結40周年を迎えた米カリフォルニア州エルドラド郡で5年ぶりに開催されました。私自身は、これまで、公務の都合で訪問できないままでしたが、今回改めて、キャンプに合わせ、ぜひ訪問して欲しいとのご招待をエルドラド郡長や郡庁所在地であるプラサビル市長からいただいたことから、初めて訪問

させていただきました。私も参加した夏の重要産業であるアメリカカンリバーでのラフティングや日米交流の原点である「おけいの墓」訪問、アメリカの青少年との言葉や文化の違いを超えた交流など、蕨の青少年達の生き生きとした姿を見て、キャンプの意義を再確認することができました。そして、市長として、行政機関の訪問に加え、エルドラドの広大な自然や歴史・文化に触れ、郡の皆さんとの交流を通じて友情と信頼を深めることができ、今後の友好親善の更なる発展にとって大変有意義な訪問となりました。なお、厳しい財政状況等を踏まえ、この訪問では公費は使わないことといたしました。

### 市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は1日です。ただし、10月は13日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へご連絡を。

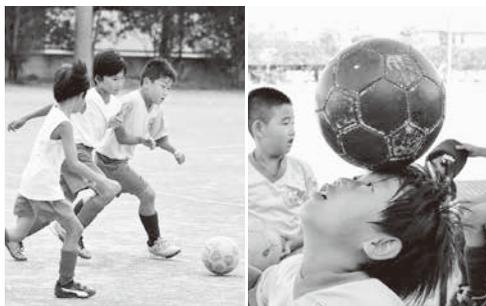
## 紹介します！皆さんの市民活動

# キラリ!! みんなの力

### ～ 蕨北町サッカー ～



保護者やOBもいっしょになって盛り上げます。蕨北町サッカーに「卒団」の二文字はありません



目指せ未来のJリーガー 得意のリフティング

「しっかり者な姉の理咲子(右)と4545で生まれた元気いっぱいな弟の輝一(左はお互いのことが大好き。二人とも保育園から帰ると夜寝るまでいっしょにかくれんぼなどをして遊びます。最近、輝一は少しずつ言

葉が分かるようになりました。理咲子が『ぎゅっとして』という満面の笑みで駆け寄って抱き締めるんですよ。その姿に家族みんなが幸せな気持ちに包まれます。これからも仲よく元気に育つてね」と、母親の陽子さん。



理咲子ちゃん (4歳9か月)

輝一ちゃん (1歳6か月)

増淵 博昭さん 陽子さんの

長女・長男 中央1丁目

# わが家のアイドル

-533-

## メッセージ



小泉 巨 代表

蕨 北町サッカーは、昭和45年に活動を開始した、伝統あるスポーツ少年団の一つです。過去には、サッカー少年団大会で県3位になったことやJリーガーを輩出したことも。現在は女子3人を含む34人が北小学校(土・日曜日・祝日 午前9時または午後1時)で25人のコーチの指導の下、練習に励んでいます。



練習後はお待ちかねのお手製かき水

練習では基本的な技術はもちろん、特に走る力を重視したメニューを取り入れ、学校で持久走大会があれば必ず上位に団員が入るほどです。また、「挨拶、返事、片づけ」など団体競技のたいせつさを意識して指導しています。サッカー以外にも合宿やクリスマス会などイベントは盛りだくさん。暑い時期は練習後にかき水を作るのが恒例です。この団は、保護者やOBがコーチを務めているように、サッカーを通して自然と地域のつながりが育まれているのが特徴です。ぜひ、親子そろって参加して、いっしょに思い出を共有してほしいですね。小泉(☎090・4948・5936)までお気軽にご連絡ください。



安心できる雰囲気づくりを大事にする毛内さん

輝いています

# ひと

もうない ひでかつ  
毛内 英克 さん

再現美容師

## がん患者の不安を髪から変える

**が**ん治療による副作用で、髪の毛を失った人に、医療用ウィッグで元の髪型をよみがえらせる再現美容師。県内で唯一その活動を行っているのが毛内英克さん(49歳・北町4丁目)です。北大宮駅前で美容室を経営する傍ら、全国で僅か50人ほどの再現美容師のうちの一人として、がん患者と向き合っています。

市内で美容室を経営したいとこの影響で美容師の道を志した毛内さん。都内の店舗などで修行をし、今の店を開いたのが21年前のことです。その後、いとこと美容師の師匠を続けて肺がんで亡くしました。「恩人たちになにもしてあげられなかった」と、思い悩む日々。そんなときに出会ったのが再現美容でがん患者を支援するNPO法人でした。「美容師の自分にできることを」と、訓練を経て、平成24年から活動を始めましたが、当初は知名度が低く、病院に医療用ウィッグの案内を置いてもらうことすら困難でした。それでも、「がん患者の闘病の一助になりたい」と、粘り強く活動を続けた毛内さん。徐々に相談者が増え、これまでに300人以上を支援してきました。人目を気にしてあまり外に出られなかった人が、毛内さんが調整した伸縮性や自然な艶、肌触りを兼ね備えたウィッグをセットし、鏡に映る自分の姿を見たとき、ほっとして涙を流すことも。

そんな毛内さんがいちばんたいせつにしているのが心のケアです。会話を重ねるなかで距離を縮めるとともに、治療後に伸びる髪に合わせたウィッグのサイズ調節やメンテナンスなどのきめ細やかなサポートも行います。「ウィッグを外した瞬間のすてきな笑顔を見るまで寄り添います」と、優しく語る毛内さん。これからも髪を通して、がん患者の不安で沈んだ心に希望の光を照らし続けていきます。

### 今月の河鍋暁斎記念美術館

# 天才絵師の作品 蔵にあり

— No. 4 —



かわなべ きょうさい  
河鍋 暁斎  
天保2年(1831)  
～明治22年(1889)

現在の茨城県古河市で生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。

### 河鍋暁斎記念美術館

「暁斎・暁翠の錦絵 一版下絵から版画まで」展  
同時開催「堀田操・堀田浅子 二つの旅」展  
期間＝9月2日(金)～10月25日(火)

開館＝午前10時～午後4時 休館＝木曜日  
毎月26日～末日 ところ＝南町4-36-4  
入館料＝一般540円 中学生～大学生430円  
小学生以下210円 詳細＝同館(☎441-9780)  
(20人以上の団体は要予約)



暁斎筆  
「暁斎楽画第五号  
不動明王開化」

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます



展覧会の詳しい内容は美術館のホームページをご参照ください